

秋の実技研修会

モデル使って実技に汗



医師対象の実技光景

今年秋の実技研修会は10月10日(月・祝)東京・駒形のFSIホールで開催した。フスフレーガー対象は午前中、4名参加、医師対象は午後、5名参加して、それぞれ下記内容で実施、モニター協力による実技演習を含む内容の濃いものとなった。イ

【フスフレーガー対象】

講演 日吉 徹理事「安心・安全なフットケアとは・・・」

講演 沼田智美氏「フスフレーガーとしての心構え・施術のポイント」

デモンストレーション「白癬と簡易白癬測定器について」



フスフレーガー対象の講演。講師は日吉理事。

モニター協力による実技演習

①会長による指導

- ・イボの見分け方 ・施術、治療について
- ・ナーゲルプロテナーゼについて

②沼田氏によるデモンストレーション

- ・爪ケア、タコケア、魚の目ケアなどのポイント

③モニターによる演習

【医師対象】

講演 倉片研修委員長「鶏眼・胼胝治療のポイント」

講演 新城孝道会長「フットケアに必要な靴の知識」

モニター協力による実技演習

①倉片副会長によるデモンストレーション(胼胝・鶏眼)

②モニターによる演習

③新城会長による靴指導の演習

ISF で実演

来場者 187 名にのぼる

「足の美と健康」の国際靴・雑貨見本市、第43回ISFが10月4~6日、東京・池袋のサンシャインシティ文化会館で開催され、当協会もFSIの協力を出展、フットケアの実演をし、JAFTAのPR活動を行った。

今回も当ブースは多数の来場者で賑わい、注目を集めた。ケアを受けにくる人は再来、過去にケアを受けた人の紹介、および靴業界の方々などで、フットケアがさらに広く認知されてきていることが実感できた。医療と連携していることも理解され共感を得ている。



当ブースへの来場者は3日間で計187名にのぼった。施術実演にはバン産商、フットケアサロン那由他スタッフ5名が当たった。(写真はフットケア実演光景)